レッスン：NO.53

テーマ：シンボルとそれらの意味

SPA NO.53/KE8/J16

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖なる存在に抱かれています。

前のレッスンでは人間の進化成長に関する様々なシンボルの重要性について説明しました。それらのシンボルの役目とは何でしょうか？シンボルの役目とは人が無知から解放されるのを助けることです。いろいろなシンボルを与えましたが、その中の一つが「生命の木」、つまり創造のセル（細胞）と分子です。このシンボルは「生」の現れのためだけであり、生はこのシンボルから何も得ることはありません。生と言うとき、それはあらゆる特質を現しながら現れている生さえも意味します。その生の現れは、魂のセルフ・エピグノシスがその本質である特質を完全に現している存在の世界のなかにあります。

それでは実存の世界における現れである人間はどうでしょうか？過去に、実存の世界の現れである人間は、マインドの一番低いバイブレーションのなかに入る前には何をも必要としなかった、と述べました。

さて、その本質を完全に現している時、その人を現在のパーソナリティーと見なすことができるでしょうか？イエスでありノーです。現在のパーソナリティーとしてはイエスですが、モナドセルフとしてではありません。なぜなら、多様性としての人間は今や多数の名前ではなく一つの名前を持っているからです。もしあなたがモナドセルフに会うなら、それは全てに会うのと同じです。モナドセルフである魂のセルフ・エピグノシスについても同じ事が言えます。

ですから、それらのシンボルは、無知にいる現在のパーソナリティーとしての人間のためだけのものです。しかし、生命の木は最小から最大まで創造界の全構造を示しています。それは天上人（Heavenly Man）の結果です。それでは天上人（Heavenly Man）とは誰でしょうか？それは最愛のお方、生の海、全ての中にあって全てを生かす生の海です。

現在のパーソナリティーとしての人間は自分自身を現すためにマインドの最も低いバイブレーションを使用しており、それは肉体以外の何ものでもありません。それは前に述べたように聖霊的に築かれています。それは主として地のエレメントから作られています。それは他のエレメントによっても生かされていますが、主として水のエレメントによって生かされています。それは現在のパーソナリティーの真の体であるサイコノエティカル体を肉体と結びつけています。水のエレメントがなければ肉体は生きられず、地に戻ることになります。

過去において地球上では多くの場所で四面ピラミッドのシンボルが使用されました。四面ピラミッドとは何でしょうか？四面ピラミッドは、人間が無知のなかに入るために使われる四つのエレメントを意味します。そして人が無知という制限から解放されるためには、人は自分自身に関するワークを通じて、四つのエレメントをマスターすることによってこのピラミッドをマスターする必要があります。言い換えれば、気づきのレベルに関するワークによってこれらの制限から自由になる必要があります。

他の多くのシンボルについても話しました。五芒星、六芒星、七芒星、八芒星、そして14芒星などです。これら全てのシンボルの目的はただ一つ、人間が出発点に戻るための助けです。

Page2

前に述べたように、人が無知にいる間は人は部屋のなかにいて、この部屋は四面ピラミッドの下、地中にあります；それは私たちの墓です。

私たちは実際この墓のなかで死んでいます。そして人がその本質、つまり特質を現していないとき、その人は死んでいるのです。それが死の意味であり、部屋にいる間に私たちが努力すべきことは、気づきのレベルとして今がどこに立っているかを認識することです。その認識なくしては、自分の現れを向上させるためにワークすることは不可能であり、気づきを上昇させようとすることは不可能です。

それでは、自分が立っている所を知るためにはどうしたら良いでしょうか？これまで提供したレッスンのなかで、私たちは沢山のシンボルについて話しました。あなた方は部屋にいる間に四面ピラミッド、さらには三面、五面ピラミッドを築く必要がありました。そして一面ピラミッドについても述べました。現在のパーソナリティーは今これら全てのピラミッドを助けとして築く必要があります。

そうです、それらのシンボルは現在のパーソナリティーの素質的可能性の二番目のサイクルをマスターする助けとなります。それは小さなサイクルであり、大きなサイクルではありません。なぜなら、現在のパーソナリティーとして人は皆、素質的可能性の大きなサイクルを与えられています。それはまず人が無知に入るのを助けること、それが大きな素質的可能性の一つです。実存の世界における人間にこのサイクルによって与えられた最初の素質的可能性です。これは人間が徐々にそれらの制限から脱することができるよう、そのような素質的可能性を与えます。そしてこの努力のなかに、前に述べたように素質的可能性の五つの小さなサイクルがあります。

最初のサイクルは完全に無視します。なぜならそれは人間が本能的意識のセルフ・エピグノシスを現している間にスタートするからです。そこには何の努力もありません。そして長年が過ぎ、多くの転生における経験の後に、このサイクルは遂に完了し、最初のイニシエーションが終わったのです。

そして、その後人間は素質的可能性の小さなサイクルとして、二番目のサイクルに入り、そこでは潜在意識的意識のセルフ・エピグノシスを現しています。このサイクルに入り、無数の蓋然的可能性のサイクルを経ながら、人は今や…勿論、それは気づきのレベルによりますが…自分にとって益になると見なすもののために努力をしています。そしてそれはエゴイズムを刺激する結果です。

人が本能的意識のセルフ・エピグノシスとしてセルフを現している間、人は機械的に、本能的に生きています。しかし人が自分のセルフ、自分にもっとフォーカスするようになると、エゴイズムが刺激されるようになります。そしてその瞬間から、人間は自分の現れを向上させようとすることが可能となるのです。

勿論、最初、動機は非常にエゴに満ちたものですが、しかし少なくともそれがスタートです。そして部屋にいる間、素質的可能性の二番目のサイクルがこのサイクルを経る助けとして与えられます。その助けとは三面ピラミッドです。このサイクルの全ての可能性がこのピラミッドによって与えられます。

前のレッスンで述べたように、非常に重要なシンボルは五面ピラミッドです。それは最初はその下部（床ではなくサイドが床と触れるサイドの下部です）からスタートする五感を意味します。五感は人間が肉体に魅せられている間だけのものです；つまり人間がサイコノエティカル体ではなく肉体を自分自身と見なしている間です。人は現在のパーソナリティーとしての真の自分との意識的なコミュニケーションがありません。勿論、肉体ではなくサイコノエティカル体と意識との間に橋をかける努力が必要です。そして徐々にゆっくりと意識は五面ピラミッドの各サイドを上昇するようになります；つまり五つの真の感覚、五つの超感覚がより表面に現れるようになります。

さて、前に述べたようにこれらのシンボルを創ったのは人間ではありません。それら全てのシンボルは創造の法則によって人間に与えられたものです。言い換えれば、原型、イデア、法則、原因としての素質的可能性のサイクルによって人間に提供されたのです。それらのピラミッドを築くようにと言われるとき、そこには常に理想的な同一のものがあるのです。それらのシンボルは素質的可能性のサイクルのなかにあるのです。あなたが築くものが理想的な同一のものにマッチするか否かは別問題ですが。

Page3

あなた方の努力とはそれらの理想的なものとマッチするようなものを築くことです。ですから、何であれ人間が部屋のなかでこの小さな四面ピラミッドをマスターするための助けとして使用されるもの、それは「法則それ自体」によって人間に与えられるものです。これはまた、地球上のあちことでこれらのシンボルがモニュメントとしてあるのが見られる理由でもあります。勿論、重要なのはそれに対するアプローチの仕方です。過去においては、当時人々が現していた気づきのレベルに従ってアプローチされていました。そして今や、それらのシンボルが正しい仕方で、つまり法則それ自体によって意図された仕方でアプローチされる時代が来たのです。そしてシンボルは現在のパーソナリティーが私たちの真の本質としての特質からより多くを現すのを助けるためにのみ提供されているのです。最初は、部屋の制限、限界から私たちが解放されるために。

現在のパーソナリティーはこれらのシンボルを次の素質的可能性のサイクルにおいてもこれらのシンボルを使用するのでしょうか？そして次の素質的可能性のサイクルはどこにあるのでしょうか？以前のレッスンで述べたように、二番目のサイクルが完了すると、つまり現在のパーソナリティーが小さな四面ピラミッドをマスターすると、その人は自動的にピラミッドの上に立ちます。つまりその人が部屋の外に出ることであり、そうすることによって現在のパーソナリティーは直ちに地の中から移動し、地上の大きな四面ピラミッドのなかに入ります。

ですから現在のパーソナリティーは次の素質的可能性のサイクルに入ることになります。現在のパーソナリティーはそこでもこれらのシンボルを使用するでしょうか？答えはイエスです。現在のパーソナリティーはいわゆる意識的意識のセルフ・エピグノシスを現し、徐々にゆっくりと意識的に生き始めるようになります。

エゴイズムについてはどうでしょうか？エゴは部屋のなかに残されるのでしょうか？前に述べたように、部屋のなかにいる目的は、自分がどこに立っているかを認識することです。二番目のサイクルにおける努力とは、まず気づきのレベルとして自分がどこに立っているかを認識し、そのレベルを向上させること、そのレベルを上昇させることです。ある程度までこのレベルを上昇させると、遂に私たちはこの二番目のサイクルをマスターすることになります。

エゴイズムはどうなるでしょうか？現在のパーソナリティーはエゴから解放されるのでしょうか？反対に、エゴは最高になるでしょう。そしてその時初めて、あなたは現在のパーソナリティーとしてのあなた自身のリアリティーと向き合い、それについてワークするようになります。低いバイブレーションを発するような関心を抱いている時、あなたは自分の内側にいる（＊エゴという）役者と向き合うことができません。エゴはあらゆることをして隠れようとするからです。あなたは顔を付き合わせてそれと向かい合う必要があります。そうです、あなたは十分に表現する必要がありますが、同時にあなたは自分自身のセルフを強化するようにしたのです。そしてあなたはヘラクレスになり、エゴの様々な側面と向き合い、それらを殺し始めるのです。

ですから、真のワークは素質的可能性の三番目のサイクルからスタートします。あなたには沢山の知識が与えられました、同時にたくさんのエクササイズも与えられました。そして何回も述べたように、エクササイズは知識を助け、実践するのを助けます；つまり、気づきの上昇に向けたワークです。知識だけでは気づきのレベルを高める代わりに、エゴを高めます。ですから、あなた方は規則的に私たちが提供したそれら全てのエクササイズを行う必要があります。特にエーテルの特質をマスターするためのエクササイズ、視覚化のためのエクササイズ、イドロプラシーのエクササイズなど、どのエクササイズも重要です。

ですから現在のパーソナリティーの部屋のなかでは二つのサイクルがあり、大きな四面ピラミッドのなかではさらに三つのサイクルがあります。しかし、前に述べたように、大きな四面ピラミッドでは二つのサイクルだけが努力を必要とし、三番目のサイクルはあなたがそのサイクルに入るや否や自動的に瞬時にそれをマスターすることになります。それは二元性のあらゆる意味を越えています。なぜなら現在のパーソナリティーは、自動的にそれを通じて現在のパーソナリティーがセルフを現すあらゆる意味をマスターするからです。そして、それは現在のパーソナリティーが五つの超感覚さえも使用せず、同調を通じてセルフを現すことを意味します。

Page4

また、そのような現在のパーソナリティーは、その特定の惑星上のあらゆる同胞の人間たちを助けるという目的だけのために、現れのあらゆる手段を使用して、五感さえも使用して自分のバイブレーションを下げることによって、転生のサイクルのなかに留まる、ということも話しました。その特定の惑星における最後の一人が同じポジションに到達するまでそのステートに留まる、と述べました。

あなた方にはたくさんのことを与えました；それらのワークをするのはあなた方次第です。全ての良いことを得るには沢山のワークが必要です。ただ一つの目的のためにすべてのエクササイズを行う必要があります…気づきのレベルを上げること、自分が今どこに立っているかを認識すること、自分自身を観察・吟味するという目的のために。真の吟味・観察は小さな四面ピラミッドのなかでスタートし、三面および五面ピラミッドという二つのシンボルが回転、垂直の軸を中心に回転します。

今の所、回転は非常にゆっくりですが、それらが回転している間、それらを詳細に観察できるようになる必要があります。ゆっくりと徐々に回転の速度を速めていきます。それはあなたが望むからではなく、気づきの上昇の結果として速度が速くなり、次のシンボルである一面ピラミッドを形成します。しかし一面ピラミッドは気づきのレベルを示す速度の結果である必要があります。するべきワークはたくさんあり、あなた方の前にはまだたくさんのワークがあります。

**質問**：最後の方であなたは、他の人々を待つためにバイブレーションを下げねばならないと言いましたが、それはいつもそうなのでしょうか？

**Ｋ**：もし誰かが現在のパーソナリティーの自己実現に到達したとします。それはその人が現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクル、大きなサイクルをマスターしたことを意味します。それはまた、その現在のパーソナリティーが頂上に立つことによって大きな四面ピラミッドを完了させてことを意味します。ですから現在のパーソナリティーの自己実現に到達したということは、その人が生の特質から多くを現すことを意味し、それらの特質は絶対愛、アガピに非常に近いものです。

そしてアガピを現している人は、自分自身のためにその現れのステートに留まるでしょうか？違います、そのような人は自らのバイブレーションを下げ、再び肉体を帯びて、転生のサイクルに留まり、他の誰もが経る経験をし、同胞の人間たちもまたそのステートに到達するように助けるのです。惑星上に最初に転生する人々は本当にたくさんの経験、たくさんの苦難を経てそのような状態に到達します；それに続く人々はそれほど多くの苦難を経なくても済むようになります。なぜなら助けの手が差し伸べられるからです。あなたが山の頂上に立つと山全体を見渡すことができますが、難しいことは他の人々が山に登ってくるのをどのようにガイドするか、です。しかし、最初に山頂に到達した人にはいかなる助けもなかったのです。勿論、人が山のスロープの何処に立っているかに従って、その人を導かねばなりません。

**質問**：誰が最初に転生して、他の人々のために道を進みやすくするのか、は誰が決めるのですか？

**Ｋ**：神の黙想です、なぜなら誰もが神の黙想のなかにいます。そうです、時間・空間の意味のなかにいる私たちには始まりと終わりがあります。時間とは空間内での移動の結果であると理解されており、空間と呼ばれる意味がありますが、果たしてそうでしょうか？しかし、実際、全ては全てのなかにあるのです。

**質問**：四面ピラミッドという手段によって私たちは部屋のなかで四つのアークエンジェルにより近づくことができるのですが、守護大天使にはどうしたらより近づくことができるのでしょうか？

**Ｋ**：守護大天使により近づくということは、自分自身に関するワークをして自分自身により近づかねばならないことを意味します。そうすれば自動的にあなたの守護大天使により近づいていきます。しかし、自分のセルフに近づいていくためには、四つのエレメントのワークをする必要があります。なぜなら、現在のパーソナリティーが無知のなかに入るために使用されたのが四つのエレメントだからです。そして五感は現在のパーソナリティーが自らを現すために肉体を使用する間、肉体だけのために使用されるものです。そうでなければ、肉体が使用されなければ、自動的に現在のパーソナリティーは本当の感覚、超感覚を使用して自らを現します；現在のパーソナリティーであるサイコノエティカル体は実際五つの超感覚を使用しています。私たちを物質、地面にフォーカスさせるのは肉体であり、またこの可能性を提供するのも肉体です。この可能性を過小評価すべきではありません。なぜならその背後には神の目的があるからです。無知のなかに入ることでさえ決して過小評価すべきではありません。なぜなら、それは神による目的の結果であり、素質的可能性のサイクルに含まれています。

Page 5

**質問**：三面ピラミッドは絶対善・絶対パワー・絶対知識を意味し、同時にそれと一緒に回転する五感に様々な色の光を投げかけます。ある人は絶対善の光に沿って成長し、他の人々は絶対パワー、また別の人々は絶対知識の光と共に成長するのでしょうか、それとも同時にそれら三つと共に成長するのですか？

**Ｋ**：どのエクササイズでも回転するときには、今のところは全てのサイドは純白、非常に輝く白、銀色のように輝いています。その色は五感を通しては適切に解釈しにくい色です。最初は三つのサイドの色は異なっていますが、三面全ては同じ色であると見なしています。ですから、三面ピラミッド、五面ピラミッドが回転しており、三面ピラミッドの方があなたに近いところにあります（三面ピラミッドは五面ピラミッドの内側にあり、あなたは真ん中にいます）。残念なことに今のところ、あなた方は三面ピラミッドから提供されるものを現していません。なぜなら三面ピラミッドは素質的可能性のサイクルを示しているからです。今のところは、あなたに最も近いのは五面ピラミッドです。それゆえにエクササイズでは、最初に五面ピラミッドのサイドからの輝きを見る、と言っているのです。三面ピラミッドが提供するものをあなた方が現していない理由、その障害となっているものとは、このバイブレーションの世界であなた方は自分を現すのに五感を使用しているからです。今の所、あなたに近いのは五面ピラミッド、特に床に近いサイドの部分です。身長の高さにより、自分の気づきの高さは身長による目の高さのところだと考えるかもしれませんが、そうではありません。最初は床に極近い部分にフォーカスし、徐々にフォーカスする高さを上げていくように努力します…それはもっと意識的に五つの超感覚を使うことを意味します。

ですから、三面ピラミッドの方が近いですが、今のところあなたはそのリアリティーに到達していないので、実際にあなたに近いのは五面ピラミッドです。そして三面ピラミッド、四面ピラミッドと三つのピラミッドから三つの異なった輝きがやってきます。それらのエクササイズはとても重要です…勿論、適切に行った場合には。それは少し疲れるかもしれませんが、努力する必要があります。努力なしで得られるものはありません。特に気づきのレベルを上げるためには、特に私たちが無知に入るのを「助けた」それらの手段についてワークする場合には。なぜなら、生が制限ある現れのなかに入るためには助けが必要であり、その助けは素質的可能性のサイクルによって提供されたのです。私たちは山の上からただ転落してきたのではありません。すべての背後には神の聖なる目的があるのです。

**質問**：この三次元の世界の日常生活における普通のコミュニケーションでは、私たちが何かを伝えると、相手はその人の理解度に応じて伝えられたことを理解します。同調の場合はどうなるのでしょうか？人が考えたことを相手は受け取らないで、別のことを受け取るということがあるでしょうか？

**Ｋ**：同調するというレベルに到達すると、気づきのレベルの違いはありません。もはや気づきのレベルに差はありません。ですからあなたが言うような問題は生じません。前に述べたように、同調のステートに到達すると意味というものはありません。意味を越えているので、気づきのレベルは問題ではありません。ですからあなたがどうあろうとも、そのレベルに到達した人はそれを現しています。なぜなら、現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルをマスターしたからです。同調を通じてセルフを現す時、あなたは現在のパーソナリティーの自己実現に到達したのです。同調を誤解しないでください。同調を直感と間違えないでください。人間にとって同調とは非常に高いレベルのものです。同調することができると主張する大部分の人は実際には同調ではなくて直感を使っています。直感で他の人とのつながりを行っています。

Page6

**質問**：同調は私にとって理解しにくいものです。同調している人にとって世界はどのように見えるのか説明していただけますか？

**Ｋ**：あなたが誰かと同調するとき、それはまるで相手はあなたにとって開かれた本のようなものです。あなたの目の前に完全に開かれている本です。あるいはもしあなたが例えばある石に同調すると、その石はあなたの前に開かれた本のようなもので、何であれその石の周囲にあるものを見ることができ、どのようにして石になったのかなどがわかります。その石が時間のなかでどのような経過をたどったのかがわかります…時間といっても一生ではなく数世紀、あるいは何百万年という時間で、そのように全てがあなたの眼前に展開します。それが同調です。同化というものもありますが、それは見る、観察すると同時にあなたはそれになります。それはこの世界のいかなる経験をも越えたものです。

同化について話すことはできません；それは現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルによって与えられる能力を超えた何かです。ですから、これが同調です。いわゆるサイコメトリーによるビジョンがあります。何かに触れると、潜在意識からビジョンが現れます。しかし、それは違います。私たちが話している同調ではありません。何かを手にとって、それに集中すると、対象に関するイメージが表面に浮上してくる、そのようなことができる人々がいます。それは全く違うもので、それはテクニカルな手段、言い換えればマジックによってそのような能力を得ることができます。自分の潜在意識のなかでそのようなステートに達するのですが、それは同調ではありません。

**質問**：もっと前にすべき質問なのですが、高いステートに到達した人が自分のバイブレーションを下げて一般の人を助けるという話がありましたが、そのような人はどのぐらいバイブレーションを下げるのですか？

**Ｋ**：決して不変の法則に反するようなことはしません。法則が道徳的なものであれ何であれ、それらの法則は気づきの上昇の結果として常に変化します。何ならば受け入れることができるか、他の人を助けるためにバイブレーションを下げる人が行う事に関して、何なら「許されるか」などということを私は言うことはできません。なぜなら、それらはそれぞれの個々のケース次第だからです。しかし、創造の不動の法則に反するようなことはしない、ということは確かです。人々がその気づきのレベルに従って制定した法律に反することはするかもしれませんが、それは個々のケース次第でしょう。なぜなら人間が制定した法律は進化成長の結果として、常に変化していくからです。昨日許されなかったことが今日は許され、勿論その反対もあります。

ですから、たとえあなたがあるレベルに到達しても、そこに留まることはありません。あなたは自分を他の人々に理解させ、受け入れさせるために最も低いバイブレーションにさえ降りていくと述べたのです。そして他の人々のレベルが徐々にゆっくりと上昇するのに従っていきます。そしてまた別の人々を助けるために戻らねばなりません。そこには多くの忍耐があります。ですから私たちはバイブレーションを下げねばなりません。

EREVNA/SPA53/KE8.J16